

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

滝沢市長 武田 哲

市町村名 (市町村コード)	滝沢市 (03216)
地域名 (地域内農業集落名)	川前・巣子地区 (川前)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年2月8日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

(1) 現状と課題

・国道を隔てた農地や高低差が大きい地形、10a区画の圃場が多く住宅地に接している等、耕作する上で難しさのある地形であるため、労働力不足が懸念されており、他地域からの参入も含め、次の世代の育成が必要である。

(2) 地域における農業の将来の在り方

・地域全体として農地中間管理機構を活用し、受け手が営農困難になった場合は、農地利用協議会が中心となり、引き受けることができる担い手へマッチングするための話し合いを毎年実施する。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	209 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	209 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農業振興地域内の農地を対象とし、担い手の意向や周辺農地の状況等を踏まえて地域内の農地の活用を促進する。

保全・管理を行う区域は今後地域で検討を深め、必要な場合は適切に設定する。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
令和6年度の地域ぐるみの中間管理事業の取組により、担い手への集積率が増加したため、今後は集約化について農地利用協議会内で調整して進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
令和6年度の地域ぐるみの中間管理事業の取組により、地域の農用地の60%以上が農地バンクを活用している。継続利用を農地利用協議会内で呼びかける。
(3)基盤整備事業への取組方針
斜面の解消や区画拡大が必要な箇所を確認し、優先順位をつけながら整備を検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・新規就農者を担い手として育成していくため、市及び農協等関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。 ・地区内の大学や自治会等の非農業者が参画できる取組を検討する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・農業者の労働負担が軽減するよう、現在個人間で委託している育苗等の組織化や業者育成の検討。 ・ドローン防除等の事業者の周知と活用に取り組む。 ・酪農ヘルパーの導入。

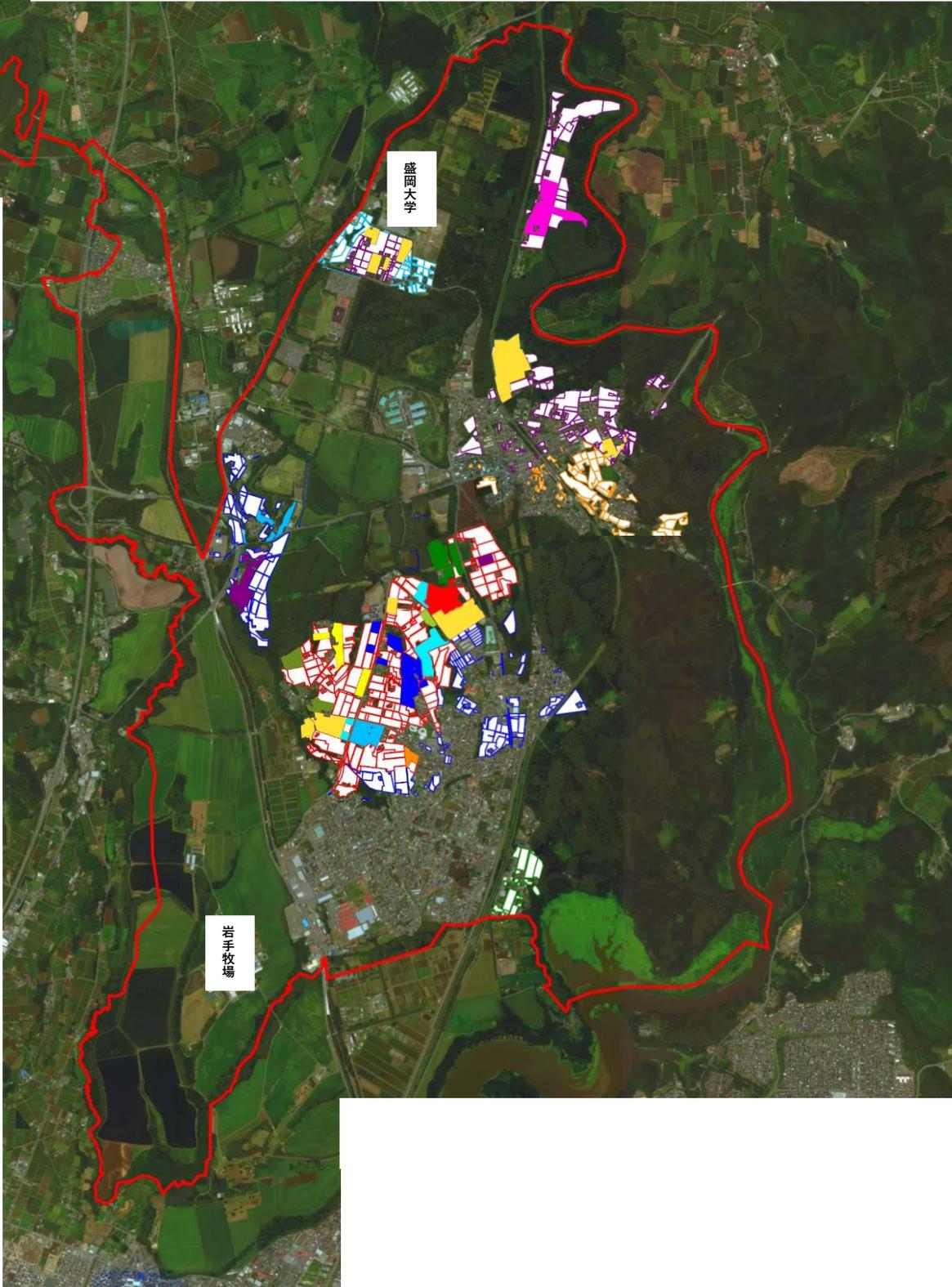
以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/> ④輸出	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input checked="" type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①地域ぐるみの対策の検討
- ②⑨耕畜連携により堆肥の有効活用の増進、農薬・化学肥料の低減栽培の普及に取り組む。
- ③補助の活用。
- ④JAを通じた輸出用米の取組の継続、拡大を図る。
- ⑤果樹の改植事業の活用。観光果樹農園の取組の検討。
- ⑥もみ殻等の生産副資材活用の検討。
- ⑦多面的機能支払交付金の活用した地域ぐるみの保全管理体制の構築。
- ⑧既存の農業組織と連携した農業用施設の活用及び改修の検討。高収益作物の拠点づくりの検討。
- ⑩農業に興味を持つ人を増やすため市民農園の検討。収入向上のため、農家レストランや観光農園の検討。機械の共同利用の仕組みづくり。

【川前・巣子地区】 目標地図（素案）



【担い手】	
Blue	1
Red	2
Green	3
Yellow	4
Orange	5
Purple	6
Cyan	7
Light Green	8
Pink	9
Light Yellow	10
Olive Green	11
Light Blue	12
Light Green	13
Magenta	14

1 : 12500

